

取扱説明書



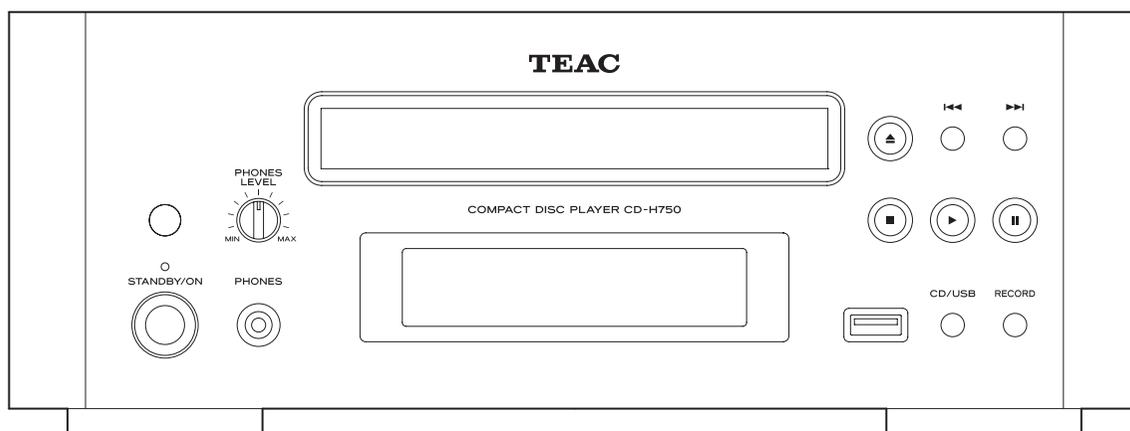
CD-H750

CD プレーヤー

Made for

iPod iPhone

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に
保管してください。
未永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



目次

お使いになる前に	3
安全にお使いいただくために	4
ディスクについて	7
MP3/WMA について	9
USB 機器について	9
接 続	10
各部の名前とはたらき (本体)	11
リモコンの使い方	12
各部の名前とはたらき (リモコン)	12
基本操作	14
ErP について	15
iPod/iPhone について	16
iPod/iPhone を聴く	16
ディスクを聴く	17
USB メモリーを聴く	18
基本再生	19
iPod/iPhone の操作	21
プログラム再生	23
リピート再生	27
シャッフル再生	28
ディスプレイ表示	29
録音の前に	30
録音設定	31
USB メモリーに録音する	32
USB メモリーからファイルを消去する	34
出荷時の設定に戻す	35
困ったときは	35
仕 様	37
保証とアフターサービス (よくお読みください)	39

Supply of this product does not convey a license nor imply any right to distribute MPEG Layer-3 compliant content created with this product in revenue-generating broadcast systems (terrestrial, satellite, cable and/or other distribution channels), streaming applications (via Internet, intranets and/or other networks), other content distribution systems (pay-audio or audio-on-demand applications and the like) or on physical media (compact discs, digital versatile discs, semiconductor chips, hard drives, memory cards and the like).

An independent license for such use is required. For details, please visit <http://mp3licensing.com>.

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

Apple and iPod are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

お使いになる前に

付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または AV お客様相談室（裏表紙に記載）にご連絡ください。

リモコン (RC-1270) × 1
リモコン用乾電池（単 3） × 2
RCA オーディオケーブル × 1
取扱説明書（本書） × 1

使用上の注意

- ディスクが内部に入っているときに、本機を傾けないでください。故障の原因になります。
- 再生中はディスクが高速で回転していますので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたままの移動は、故障の原因となります。
- 本機がスタンバイ（オフ）状態のときでも、待機電力が消費されます。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

お手入れ

表面が汚れたときは乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いたあと、固く絞った布で水拭きしてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

△ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<h2>警告</h2>	<p>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
	<p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。</p>
	<p>禁止</p>	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損（芯線の露出や断線など）した場合は、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。</p>
	<p>禁止</p>	<p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>禁止</p>	<p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。 火災・感電の原因となります。</p>
	<p>禁止</p>	<p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（30cm以上）離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から30cm以上、背面から30cm以上のすきまをあける すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
	<p>禁止</p>	<p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p>
	<p>禁止</p>	<p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
	<p>指示</p>	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
	<p>禁止</p>	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>



警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



分解禁止

この機器のカバーは絶対に外さない

カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。

この機器を改造しない

火災・感電の原因となります。



注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



電源プラグを
コンセントから
抜く

移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す

コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。



指示

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する

また、接続は指定のケーブルを使用する

電源を入れる前には、音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となる場合があります。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする

異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。

この機器には、付属の電源コードを使用する

それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない

火災・感電やけがの原因となる場合があります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。

必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となる場合があります。

安全にお使いいただくために（続き）

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液もれなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 注意 乾電池に関する注意	
 禁止	乾電池は絶対に充電しない 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

 注意 電池に関する注意	
 指示	電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる 間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
 禁止	指定以外の電池は使用しない 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 分解禁止	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	分解しない 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。



愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

「Compact Disc Digital Audio」ロゴマークのある CD (12cm/8cm)



音楽 CD フォーマットで正しく記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。
または、MP3、WMA ファイルが記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。

⚠ 上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。
- ビデオ CD、CD-ROM などはディスクを読み込むことはできますが、再生しても音が出ません。
- DVD ビデオ、DVD オーディオ、DVD-ROM などは本機で読み込むことはできません。また、再生もできません。
- コピーコントロール CD や Dual Disc など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RW について

本機は音楽 CD フォーマット (CD-DA) で記録された CD-R/CD-RW。

または、MP3、WMA ファイルが記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW を再生することができます。

- CD レコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号記録面 (レーベルがない面) に傷、指紋、汚れなどがあると、録音 / 再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



取り出し方

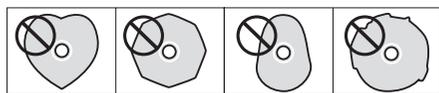


持ち方

ディスクについて（続き）

使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクにはラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタル CD のシールなどを貼ったあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて録音 / 再生ができなくなる場合があります。
- 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状の CD は、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



お手入れ

- 信号記録面に指紋やほこりがついたときは、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RW は、通常の CD と比べて紫外線や熱の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

MP3/WMA について

本機は CD-R/CD-RW や USB メモリーに記録された MP3/WMA ファイルを再生することができます。

- 再生可能オーディオファイルフォーマット

MP3 (拡張子「.mp3」)

ビットレート 8kbps ~ 320kbps
サンプリング周波数 16kHz ~ 48kHz

WMA (拡張子「.wma」)

ビットレート 48kbps ~ 192kbps
サンプリング周波数 32、44.1、48kHz

※ DRM(Digital Right Management) には対応していません。

ファイル情報の表示について

本機のディスプレイには半角のアルファベットと数字(1 バイト文字)しか表示できません。

- ファイル情報に日本語や中国語などの全角文字(2 バイト文字)が使われている場合、再生は出来ませんがディスプレイに正しく表示できません。

パソコンを使って MP3/WMA ファイルを作成する際の注意

- ファイル名には必ず拡張子を付けてください。拡張子のないファイルは認識できません。
- CD-R/CD-RW への記録後は、ファイナライズしてください。ファイナライズされていないディスクは再生できません。
- 本機で対応できる最大曲数は 2000 曲、最大フォルダ数は 99 です。最大数を超えて記録されている場合は正しく再生できません。

USB 機器について

本機で使用できる USB 機器

- 本機は USB メモリーに保存された音楽ファイルを再生することができます。
- 使用可能フォーマットは、FAT16/32 です。
- 再生可能な最大フォルダ数：99
- 再生 / 録音可能な最大ファイル数：2000

注意

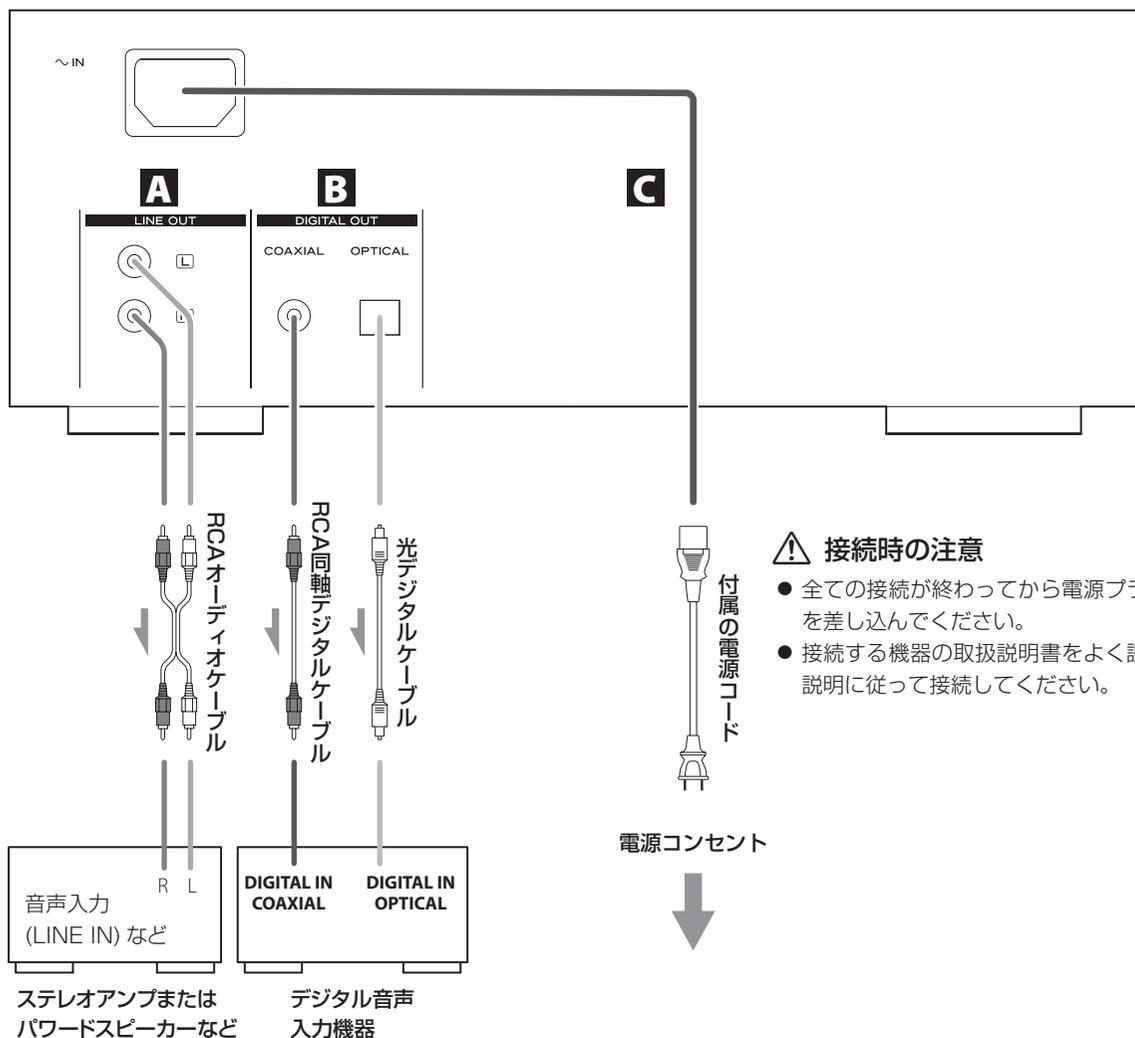
- 最大消費電流が 500mA 以上の機器は使わないでください。
- セキュリティ機能等の特殊機能がある機器は使わないでください。
- 2 つ以上の区画に分かれている機器は使わないでください。
- USB ハブを介して USB 機器を使うことはできません。
- 機器の状態によっては正常に動作しないことがあります。
- USB 端子で充電する USB フラッシュメモリープレーヤーでは、使用できないものがあります。
- 本機では USB メモリーに記録されているファイルをコピー、または移動することはできません。
- USB メモリーの状態によっては、ファイルが再生できなかったり、音が途切れることがあります。

USB メモリーへの録音

本機では、CD の音声を MP3 形式にして、USB メモリーに録音することができます。

録音方法は、32 ページをご覧ください。

接 続



⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

A アナログ音声出力端子

アナログの音声が出力されます。
 付属の RCA オーディオケーブルを使って、本機をアンプの CD 入力端子に接続してください。
 オーディオケーブルは白のピンプラグを白 (L) 端子に、赤のピンプラグを赤 (R) 端子に接続してください。



- プラグはしっかりと差し込んでください。また、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因になります。

B デジタル音声出力端子

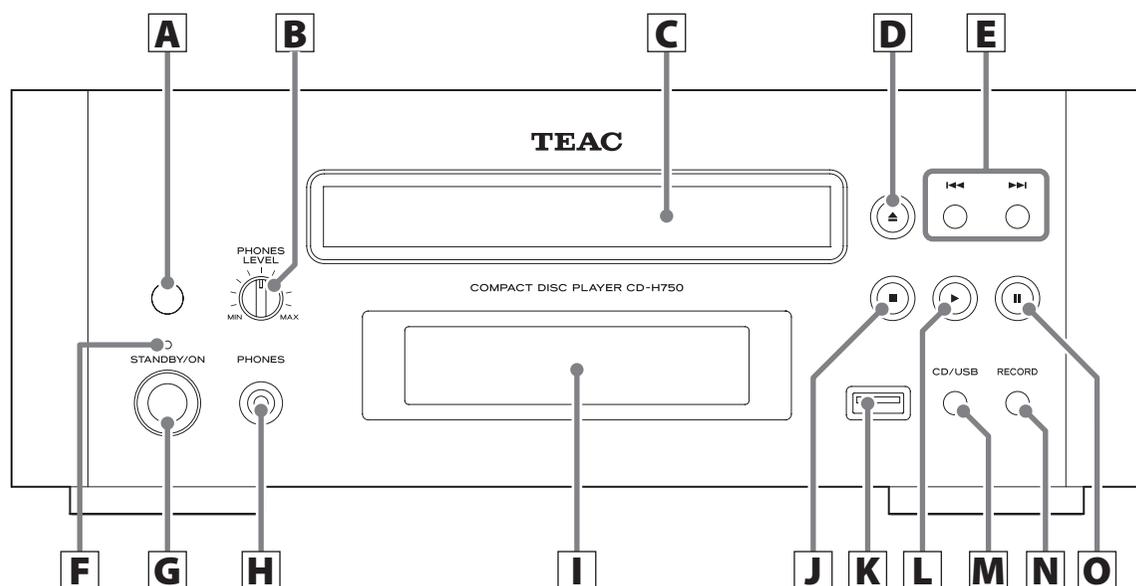
2 チャンネルのデジタル音声出力端子です。
 CD、iPod/iPhone、USB メモリ再生時には 44.1kHz/16bit の PCM 信号が出力されます。接続には、市販の光デジタルケーブル/RCA 同軸デジタルケーブルをご使用ください。

C 電源インレット [~ IN]

付属の電源コードを差し込んでください。
 全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

- ⚠ 付属の電源コード以外は使わないでください。
 火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

各部の名前とはたらき（本体）



A リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

B ヘッドホン音量つまみ [PHONES LEVEL]

ヘッドホンの音量を調節できます。

C ディスクトレイ

D 開閉ボタン [▲]

ディスクトレイを開閉します。

E スキップ/サーチボタン [◀◀/▶▶]

再生、または一時停止中に、このボタンを押すと曲がスキップします。

再生中にこのボタンを押したままにすると曲の早送り/早戻しができます。

F 電源インジケータ

電源がオンで、青く点灯します。

電源がスタンバイになるとオレンジ色で点灯します。

G 電源ボタン [STANDBY/ON]

電源のスタンバイとオンを切り換えます。

H ヘッドホン端子 [PHONES]

ヘッドホンをお使いになるときは、ヘッドホンプラグ (3.5mm ステレオミニジャック) を端子に差し込みます。

I ディスプレー

J 停止ボタン [■]

再生、録音を停止します。

K iPod/USB 端子

iPod/iPhone または USB メモリーを接続します。

L 再生ボタン [▶]

再生を開始します。

M CD/USB ボタン [CD/USB]

再生するソースを切り換えます。CD の再生か、USB 端子に接続した USB メモリーまたは iPod/iPhone の再生を選びます。

N 録音ボタン [RECORD]

このボタンを押すと、USB メモリーへの録音が始まります。

3 秒以上の長押しで、録音設定モードに切り替わります。

O 一時停止ボタン [||]

再生を一時停止します。

リモコンの使い方

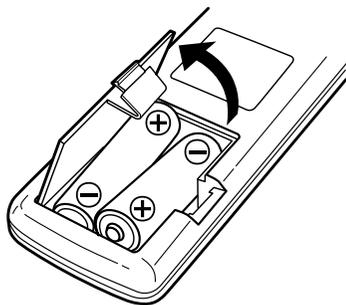
使用上の注意

⚠ 乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。6ページの注意をよく読んでお使いください。

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

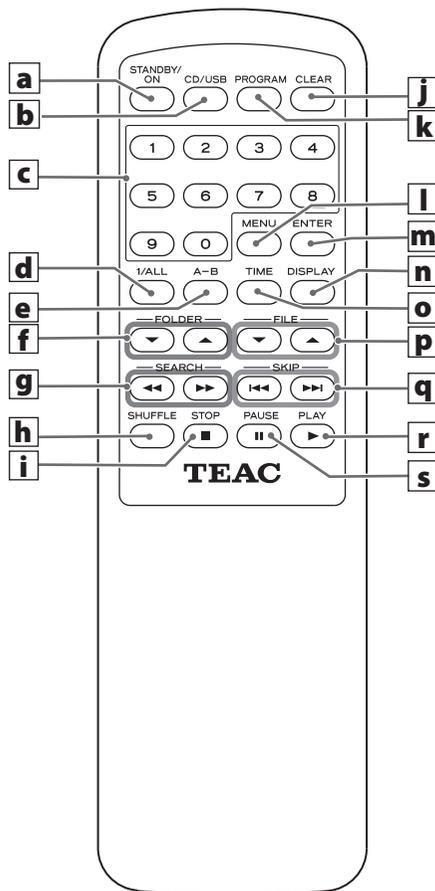
リモコン裏面のフタを外し、ケースの⊕と⊖の表示に合わせて乾電池(単3形)2本を入れて、フタを閉めてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

各部の名前とはたらき (リモコン)



a 電源ボタン [STANDBY/ON]

電源のスタンバイとオンを切り換えます。

b CD/USB ボタン [CD/USB]

再生するソースを切り換えます。CDの再生か、USB端子に接続したUSBメモリーまたはiPod/iPhoneの再生を選びます。

c 数字ボタン

選曲に使用します。

d 1/ALL ボタン [1/ALL]

リピート再生のモードを切り換えます。(27ページ)

e A-B ボタン [A-B]

A-Bリピートの始点と終点の設定を行います。(28ページ)

f フォルダーボタン [FOLDER ▼/▲]

MP3/WMA再生の時、前または次のフォルダーにスキップします。(20ページ)

g サーチボタン [◀◀/▶▶]

再生中に押したまましていると、早送り/早戻しできません。(19ページ)

h シャッフルボタン [SHUFFLE]

シャッフル再生に使用します。(28ページ)

i 停止ボタン [■]

再生、録音を停止します。

j クリアボタン [CLEAR]

プログラムした曲を取り消します。(26ページ)

k プログラムボタン [PROGRAM]

このボタンを押すと、プログラムモードに入ります。(23ページ)

l メニューボタン [MENU]

iPod/iPhone接続時にこのボタンを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。iPod/iPhoneのメニューボタンと同じ動きをします。(21ページ)

m 決定ボタン [ENTER]

フォルダーボタン (FOLDER) やファイルボタン (FILE) で選んだものを確定します。(20ページ)

n ディスプレーボタン [DISPLAY]

MP3/WMAファイルの再生中にこのボタンを押すと、ディスプレイの表示が切り替わります。(30ページ)

o タイムボタン [TIME]

CDの再生中にこのボタンを押すと、ディスプレイの表示が切り替わります。(29ページ)

p ファイルボタン [▼/▲]

MP3やWMAファイルの選択を行います。(21ページ)

iPod/iPhone接続時には、メニューのスクロールを行います。(21ページ)

q スキップボタン [◀◀/▶▶]

再生、または一時停止中に、このボタンを押すと前または次の曲にスキップします。(19ページ)

r 再生ボタン [▶]

再生を開始します。

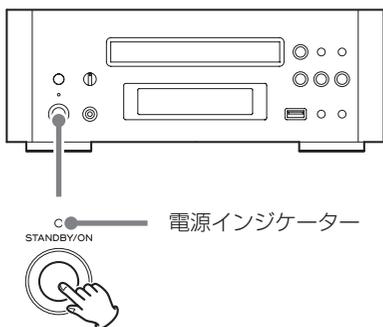
s 一時停止ボタン [⏸]

再生を一時停止します。

基本操作

電源を入れる

電源ボタン (STANDBY/ON) を押して、電源をオンにします。

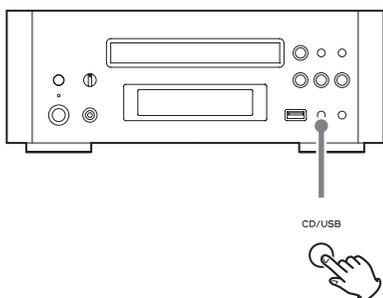


電源オンで、電源インジケータが青く点灯します。電源がスタンバイになると電源インジケータがオレンジ色に点灯します。

再生ソースを選択する

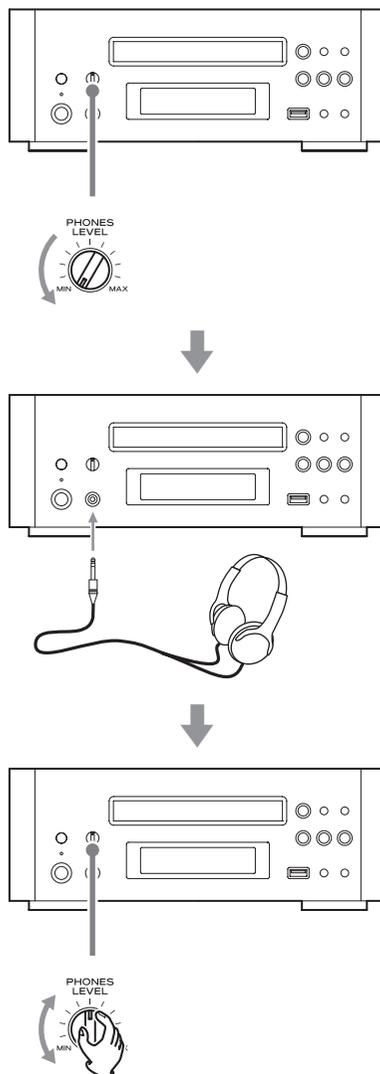
CD/USB ボタン (CD/USB) を押すと、再生ソースが CD ↔ USB と交互に切り替わります。

USB 端子に接続した USB メモリーまたは、iPod/iPhone に付属の USB ケーブルで USB 端子に接続した iPod/iPhone を再生するには「USB」を選んでください。



ヘッドホンで音楽を聴く

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を下げてからヘッドホンプラグをヘッドホン端子に差し込み、ヘッドホン音量つまみ (PHONES LEVEL) で音量を調節してください。



- ヘッドホンプラグが差し込まれても、アナログ / デジタル音声出力端子から出力されます。

ErP について

本製品は、欧州待機時電力規制（ErP）対応製品です。

ECO モード

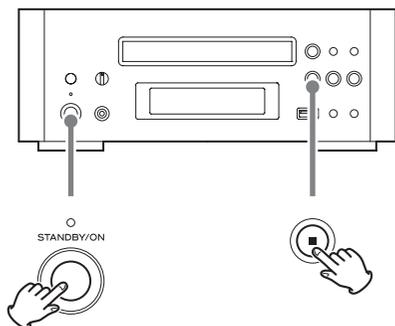
製品出荷時のオートパワーセーブ機能の設定が 30 分に設定されており、以下の表に記載されている条件で 30 分経過すると自動的にスタンバイになります。

状態	CD	USB メモリー	iPod/iPhone
ディスクなしまたは接続なし	○	○	○
停止 / 一時停止	○	○	×
録音一時停止	/	×	/

○：オートパワーセーブ機能が動作する
×：オートパワーセーブ機能が動作しない
/：機能なし

ECO モード設定を変更する

- 1 スタンバイモードにする。
- 2 電源ボタン（STANDBY/ON）と停止ボタン（■）を同時に 3 秒以上押す。



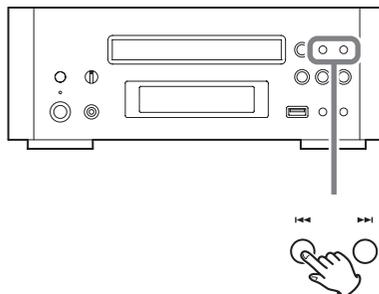
現在の ECO モード設定が表示されます。

(例)

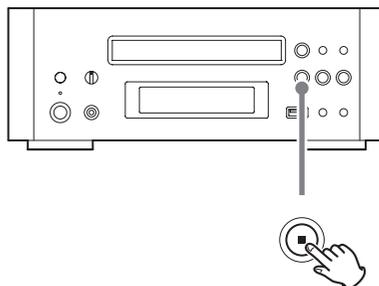


- 3 スキップ/サーチボタン (I◀◀/▶▶I) で ON/OFF を切替える。

スキップ/サーチボタン (I◀◀/▶▶I) を押す毎に ON/OFF が切り換わります。



- 4 停止ボタン (■) を押して、設定を確定する。



iPod/iPhone について

本機には、iPod/iPhone のメニューを iPod/iPhone のスクリーンに表示する「ダイレクトモード」と本機のディスプレイに表示する「エクステンデッドモード」の2つのモードがあります。工場出荷時は、「ダイレクトモード」に設定されています。

モードの切り換え方法については、22 ページの「メニュー画面の表示先を切り換える」をご覧ください。

本機で使用できる iPod/iPhone

本機で使用できる iPod/iPhone は以下の通りです。

- iPhone 4S、iPhone 4、iPhone 3GS、iPhone 3G
- iPod touch (第1世代、第2世代、第3世代、第4世代)
- iPod nano (第3世代、第4世代、第5世代、第6世代)

- 本機は iPod のビデオ出力には対応していません。
- iPod シャッフルには対応していません。

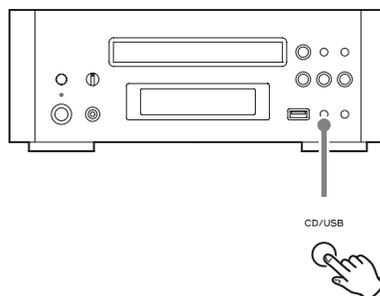
本機で使用できる iPod/iPhone については、以下の弊社ホームページの iPod/iPhone 対応表もご覧ください。

iPod/iPhone 対応表

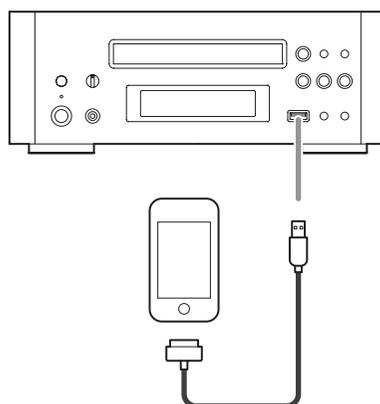
<http://teac.jp/support/ipod/>

iPod/iPhone を聴く

- 1 CD/USB ボタン (CD/USB) を押して、「USB」を選ぶ。



- 2 iPod/iPhone に付属の USB ケーブルを使用して、本機に接続する。

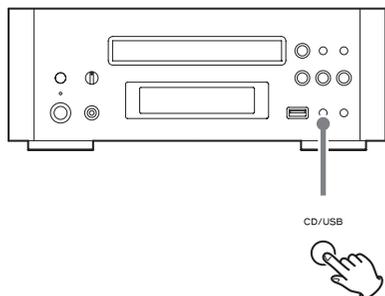


iPod/iPhone の電源が自動的にオンになり、iPod/iPhone のプレイリストにしたがって再生が始まります。

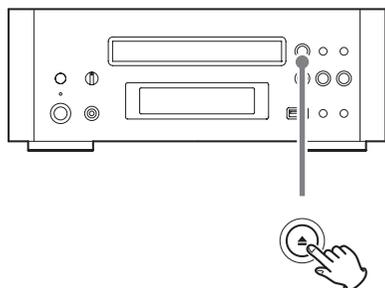
- iPod/iPhone が「エクステンデッドモード」に設定されているとき、自動再生は行われません。決定ボタン (ENTER) を 3 回押すと再生が始まります。
- ソースが「CD」のときに iPod/iPhone を接続すると、iPod/iPhone の電源がオンになり、iPod/iPhone は一時停止状態になります。
- iPod/iPhone が本機と接続されていて、本機の電源がオンの間は常に iPod/iPhone を充電します。フル充電すると充電を停止します。本機がスタンバイの時は充電しません。

ディスクを聴く

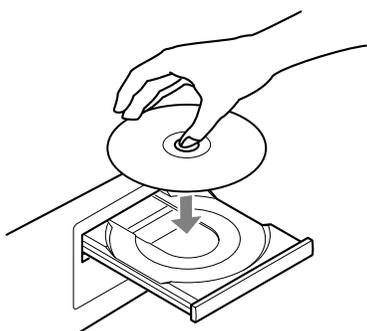
- 1** CD/USB ボタン (CD/USB) を押して「CD」を選ぶ。



- 2** 開閉ボタン (▲) を押す。

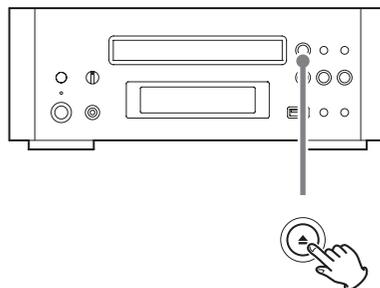


- 3** ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせる。



- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。
- 複数のディスクをトレーに置かないでください。
- 特殊形状の CD は、使用しないでください。

- 4** 開閉ボタン (▲) を押す。



ディスクトレイが閉まります。指を挟まないようにご注意ください。

- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスプレイに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。

オーディオ CD

ディスクの総曲数および総再生時間が表示されます。

(例)

CD/Stop
T016 72:00

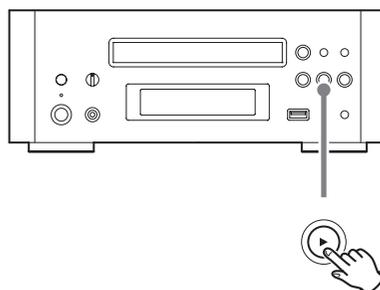
MP3/WMA ディスク

ディスクの総曲数が表示されます。

(例)

CD/Stop
Total file 010

- 5** 再生ボタン (▶) を押す。



1 曲目から再生が始まります。

ディスクを聴く (続き)

オーディオ CD



MP3/WMA ディスク

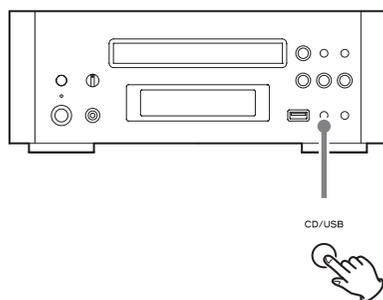


- フォルダに入っていない MP3/WMA ファイルは、自動的に「ROOT」フォルダに入れられます。ROOT フォルダの 1 曲目から再生が始まります。
- MP3/WMA のファイルの入っていないフォルダはスキップして再生します。
- MP3/WMA ファイルの再生中は「タイトル名 - アーティスト名 - アルバム名」がスクロール表示されます。
- 本機のディスプレイには半角のアルファベットと数字 (1 バイト文字) しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) が使われている場合、再生は可能ですがディスプレイに正しく表示されません。
- 最後の曲の再生が終わると停止します。
- ディスクをのせたあと、開閉ボタン (▲) を押さずに再生ボタン (▶) またはシャッフルボタン (SHUFFLE) を押すと、自動的にトレイが閉じて再生を始めます。

USB メモリーを聴く

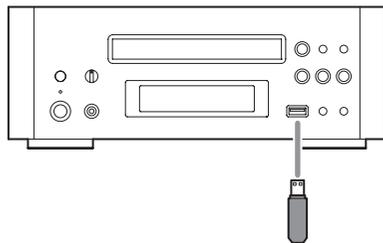
本機はUSBメモリーに保存されたMP3/WMAファイルを再生することができます。

- 1** CD/USB ボタン (CD/USB) を押して、「USB」を選ぶ。

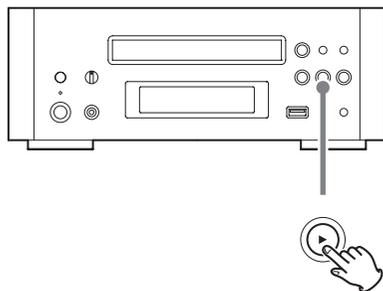


USBメモリーが接続されていないときは、ディスプレイに「Not connected」(接続されていません)と表示されます。

- 2** USBメモリーを本機に接続する。



- 3** 再生ボタン (▶) を押す。

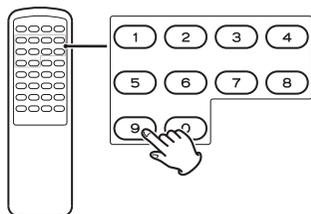


最初のファイルから再生が開始されます。

基本再生

CD USB

数字ボタンで曲番を選で再生する



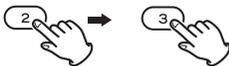
再生中または停止中に、数字ボタンを押して曲番 / ファイル番号を選んで再生できます。

(例)

曲番 / ファイル番号「7」:



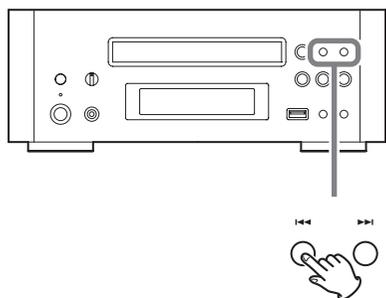
曲番 / ファイル番号「23」:



選んだ曲番から自動的に再生されます。

CD USB iPod

早送り / 早戻しをする



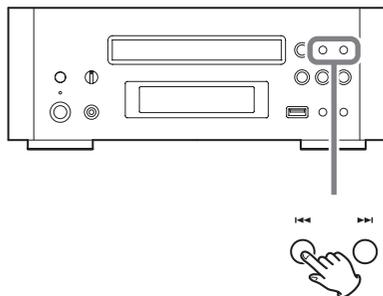
再生中にスキップボタン (FF / FF) を押したまましていると、早送り / 早戻しができます。指をはなすと、そこから再生が始まります。

リモコンで操作する時は、サーチボタン (FF / FF) を使用します。

- USB モードではサーチ中は、音は出ません。
- 最後の曲の終わりまで来ると、停止します。

CD USB iPod

曲をスキップする



再生中に FF を押すと、次の曲にスキップします。希望する曲になるまで、続けて押してください。選択された曲の始めから再生を始めます。

再生中に、RR を 1 回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、RR を続けて押してください。

前の曲を再生したいときは、RR を 2 回押してください。

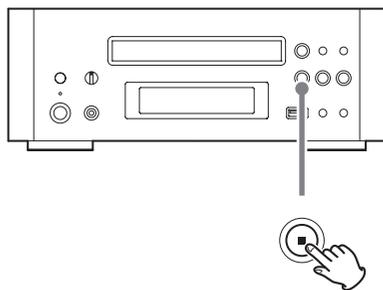
- 再生時間が 3 秒以内のときに RR を押すと前の曲を再生します。

停止中は、RR または FF をくり返し押して希望の曲番を選んだあと、再生ボタン (▶) を押すと再生が始まります。

- プログラム再生 (24 ページ) 中は、プログラムした曲の前または次の曲にスキップします。

CD USB

停止する



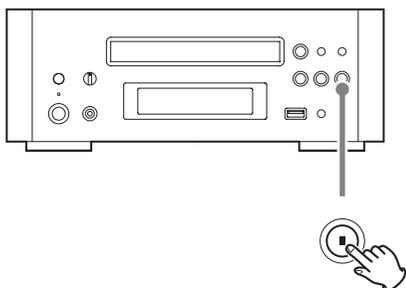
停止ボタン (■) を押すと停止します。

再生を再開したいときは、再生ボタン (▶) を押します。最初の曲から再生が始まります。

基本再生 (続き)

CD USB iPod

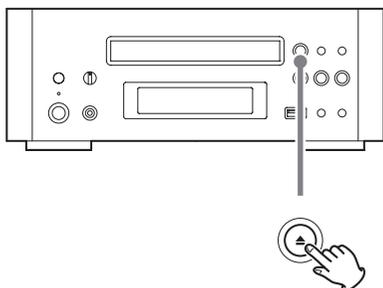
一時停止する



再生中に、一時停止ボタン (II) を押すと再生が一時停止します。もう一度再生ボタン (▶) を押すと、一時停止したところから再び再生が始まります。

CD

ディスクを取り出す



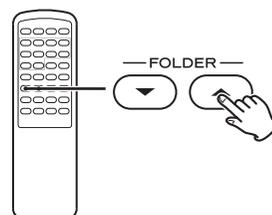
開閉ボタン (▲) を押すと再生が停止してディスクトレイが開きます。ディスクを取り出し、もう一度開閉ボタン (▲) を押してディスクトレイを閉じてください。

CD USB

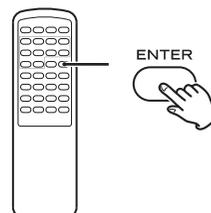
フォルダーを選ぶ

(MP3/WMA ディスク、USB メモリーのみ)

- 1 フォルダーボタン (▼/▲) を押して、再生したいフォルダーを選ぶ。



- 2 決定ボタン (ENTER) を押す。



フォルダーが選択されます。決定ボタン (ENTER) をもう一度押すと、フォルダーに入っている最初のファイルから再生が始まります。

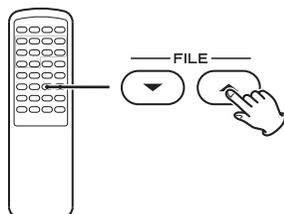
iPod/iPhone の操作

CD USB

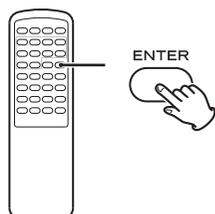
ファイルを選ぶ

(MP3/WMA ディスク、USB メモリーのみ)

- 1 ファイルボタン (▼/▲) を押して、再生したいファイルを選ぶ。

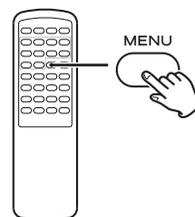


- 2 決定ボタン (ENTER) を押す。



選んだ曲から再生が始まります。

前のメニューに戻る

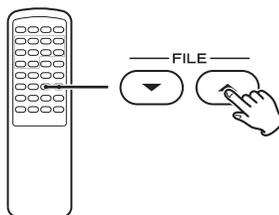


メニュー (MENU) を押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

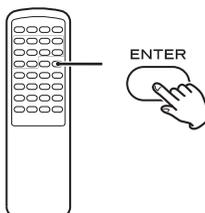
iPod/iPhone の MENU ボタンと同じ機能です。

メニュー項目を選ぶ

- 1 ファイルボタン (▼/▲) を押して、メニューアイテムを選ぶ。

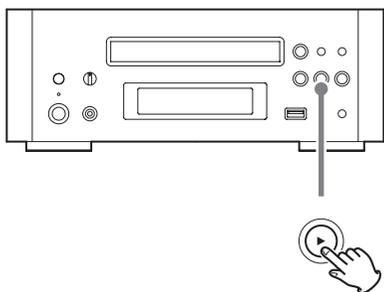


- 2 決定ボタン (ENTER) を押す。



iPod/iPhone の操作 (続き)

iPod/iPhone をスリープモードにする



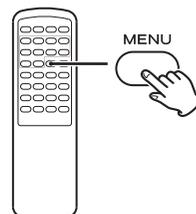
ダイレクトモード時に再生ボタン (▶) を 5 秒以上押し続けると iPod/iPhone がスリープモードになります。

スリープモードをキャンセルするときは、再生ボタン (▶) を押ししてください。

- エクステンデッドモード時は、スリープモードにできません。

メニュー画面の表示先を切替える

メニュー画面の表示先を iPod/iPhone のスクリーンから本機のディスプレイに切替えることができます。



iPod/iPhone 接続時、メニューボタン (MENU) を 4 秒以上押し続けると切替えができます。

ダイレクトモード (初期設定)

メニューが、iPod/iPhone のスクリーンに表示されます。本機のディスプレイには、「Direct Mode (ダイレクトモード)」と表示されます。

iPod/iPhone のメニュー画面で、iPod/iPhone を操作します。

エクステンデッドモード

本機ディスプレイに iPod/iPhone のメニューが表示されます。

iPod/iPhone の操作は、本機のボタンまたはリモコンで行います。

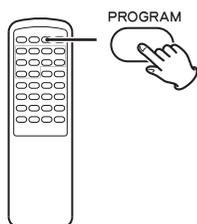
- 本機のディスプレイには半角のアルファベットと数字 (1 バイト文字) しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) が使われている場合、再生は可能ですがディスプレイに正しく表示されません。
- 電源をスタンバイにしたり、iPod/iPhone と接続している USB ケーブルを抜き差ししても、設定は保持されます。

プログラム再生

CD USB

32曲まで、プログラムして再生することができます。

1 停止中にプログラムボタン (PROGRAM) を押す。



CD モード

(例)

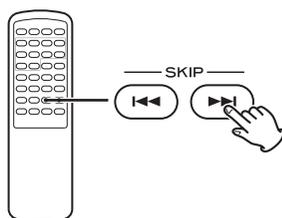
P-00 T000
T016 72:00

USB モード

(例)

P-00 T0000
Total File 0130

2 スキップボタン (I◀◀/▶▶I) を押して、曲を選び 10 秒以内にプログラムボタン (PROGRAM) を押す。



スキップボタン (I◀◀/▶▶I) を押すと、曲番が点滅します。

CD モード

(例)

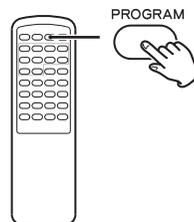
P-01 T001
T016 72:00

USB モード

(例)

P-01 T0001
Total File 0130

スキップボタン (I◀◀/▶▶I) を押してプログラムしたい曲番を表示して、プログラムボタン (PROGRAM) を押すと、曲番が確定し、点滅が止まります。



CD モード

(例)

P-01 T012
T016 72:00

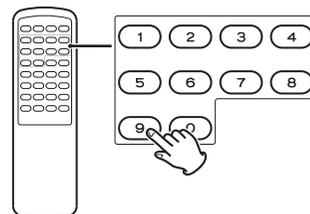
USB モード

(例)

P-01 T0012
Total File 0130

- この操作を繰り返して、プログラムする曲を追加します。
- 間違えたときは、クリアボタン (CLEAR) を押すと直前の曲を取り消すことができます。
- 32曲までプログラムできます。32曲を超えてプログラムしようとする、ディスプレイに「P-FULL」と表示され、追加することはできません。

数字ボタンを使用して、直接曲番を入力することもできます。



(例)

曲番 / ファイル番号 「7」:



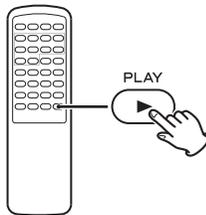
曲番 / ファイル番号 「23」:



プログラム再生 (続き)

数字ボタンを1つ押すと、曲番が確定しない場合には曲番が点滅します。(例えば、20曲入りのCDディスクをプログラムするとき、はじめに「1」を入力すると、曲番はすぐに確定しないため「10」や「15」といった曲番の可能性があるため)点滅します。しかし、「5」と入力した場合は、曲番がすぐに確定するため、(20曲しか曲がないので「50」や「51」という可能性がないため)点滅せずに、曲番が確定します。)点滅中は、数字をひと続きの数字として認識します。続けて曲をプログラムするときは、ご注意ください。しばらくすると点滅が止まり、曲番が確定します。また点滅中にプログラムボタン (PROGRAM) を押ししても曲番が確定します。曲番確定後次の曲番を数字ボタンで入力します。この操作を繰り返して、プログラムする曲を追加します。

3 プログラムが完了したら、再生ボタン (▶) を押す。



プログラム再生が始まります。
すべての曲の再生が終わるか停止ボタン (■) を押すとプログラム再生は終了します。

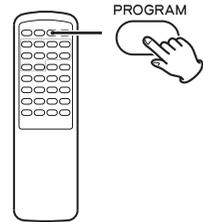
CD USB

プログラムした曲を再生する

停止中にプログラムボタン (PROGRAM) を押してから、再生ボタン (▶) を押すとプログラムした曲が、1曲目から再生されます。

CD USB

プログラム内容のチェック

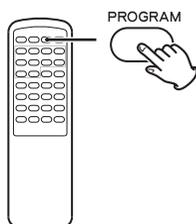


停止中にリモコンのプログラムボタン (PROGRAM) を押すと、プログラム番号とプログラムした曲番が順番に表示されます。

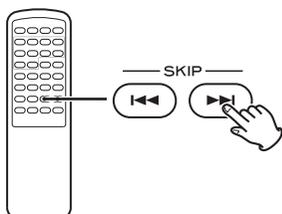
CD USB

プログラムの修正

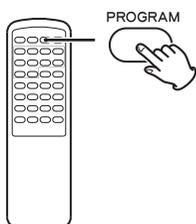
- 1 停止中に、プログラムボタン (PROGRAM) をくり返し押して、修正したいプログラム番号を表示させる。



- 2 新しい曲番をスキップボタン (◀◀/▶▶) を押して選び、プログラムボタン (PROGRAM) を押す。

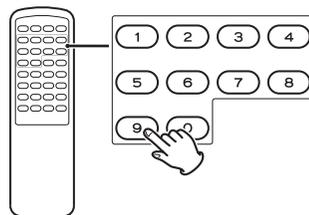


プログラムの最後に曲を追加したい場合は、最後の曲の次に「P-End」が一瞬表示されたら、新しい曲番をスキップボタン (◀◀/▶▶) を押して選んでください。



プログラムボタン (PROGRAM) を押すと、前に設定したプログラムの曲と新しい曲が入れ替わります。またはプログラムの最後に曲が追加されます。

数字ボタンを使用して、直接曲番を入力することもできます。



(例)

曲番 / ファイル番号「7」:

曲番 / ファイル番号「23」:

前に設定したプログラムの曲と新しい曲が入れ替わります。

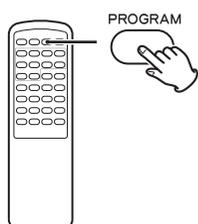
またはプログラムの最後に曲が追加されます。

プログラム再生 (続き)

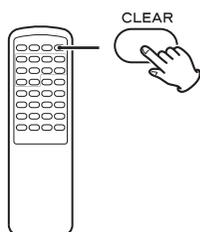
CD USB

プログラムした曲を取り消す

- 1 停止中に、取り消したい曲番が表示されるまでプログラムボタン (PROGRAM) を繰り返し押す。



- 2 クリアボタン (CLEAR) を押す。

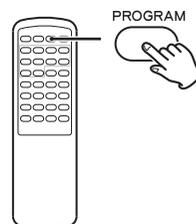


選択した曲がプログラムから消去されます。

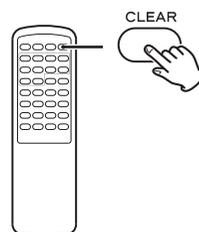
CD USB

すべてのプログラム内容を消去する

- 1 停止中に、プログラムボタン (PROGRAM) を押す。



- 2 クリアボタン (CLEAR) 4 秒以上押す。

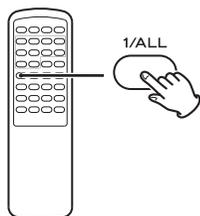


以下のボタンを押した場合も、プログラム内容は消去されます。

電源ボタン、開閉ボタン (▲)

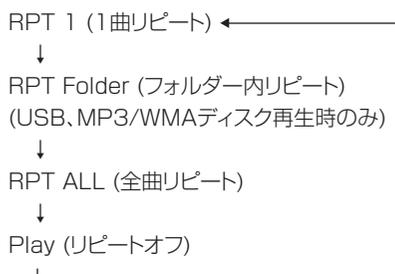
- 電源コードを外すと、すべてのプログラムは消去されます。

リピート再生



CD USB

再生中にリピートボタン (1/ALL) を押すと、リピートモードが以下のように切り替わります。



1 曲リピート (RPT 1)

再生中の曲が繰り返し再生されます。1 曲リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲を繰り返し再生します。

フォルダー内リピート (RPT Folder)

再生中のフォルダー内すべての曲を繰り返し再生します。フォルダーがないときは、このモードは表示されません。

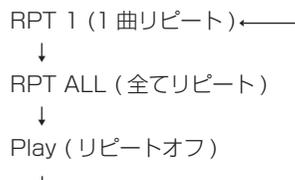
全曲リピート

すべての曲を繰り返し再生します。
プログラム再生中は、プログラムされた曲を繰り返し再生します。

- 停止ボタン (■) を押すとリピート再生はキャンセルされます。

iPod

iPod/iPhone の再生中にリピートボタン (1/ALL) を押すと、iPod/iPhone のリピートモードが以下のように切り替わります。



1 曲リピートを選ぶと、iPod/iPhone のディスプレイに  が表示され、再生中の曲を繰り返し再生します。

全てリピートを選ぶと、iPod/iPhone のディスプレイに  が表示され、全ての曲を繰り返し再生します。

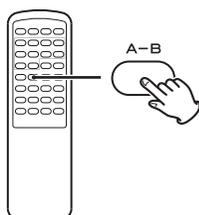
リピート再生 (続き)

CD

A-B リピート

ある 1 曲の中の特定の部分を繰り返し再生することができます。

- 1 CD を再生し、繰り返しを始めた部分 (A 点) になったら A-B ボタン (A-B) を押す。



(例)

CD/Play A→B
T003 00:42

ディスプレイに「A-」が表示され「B」が点滅します。

- 2 終了したい部分 (B 点) でもう一度 A-B ボタン (A-B) を押す。

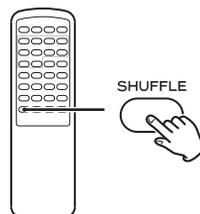
(例)

CD/Play A-B
T003 01:00

ディスプレイに「A-B」と表示されます。
設定した A 地点と B 地点の間を繰り返し演奏します。

- A と B の間は、3 秒以上必要です。
- A-B ボタン (A-B) をもう一度押すと A-B リピートはキャンセルされます。
- 以下のボタンを押しても、A-B リピートはキャンセルされます。
停止 (■)、スキップ (◀▶)、1/ALL、シャッフル (SHUFFLE)、開閉 (▲)、電源
- USB/iPod/iPhone では、A-B リピートはできません。
- MP3/WMA ディスクは、A-B リピートできます。

シャッフル再生



CD USB

CD、USB メモリー再生中にシャッフルボタン (SHUFFLE) を押すと、曲がランダムに再生されます。

CD モード

(例)

CD/Shuffle
T003 00:07

USB モード

(例)

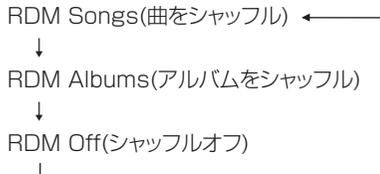
USB/Shuffle
T0003 00:07 WMA

- シャッフル再生中に ▶▶ ボタンを押すと、次の曲がランダムに選択されます。◀◀ ボタンを押すと、現在の曲の頭に戻ります。既にシャッフル再生が終わった曲には戻りません。
- シャッフルボタン (SHUFFLE) をもう一度押すと、シャッフル再生はキャンセルされます。
- 停止ボタン (■) を押すとシャッフル再生は終わります。
- CD の場合は全曲、MP3/WMA ディスク、USB の場合は全ファイルがシャッフル再生されると停止します。

ディスプレイ表示

iPod

シャッフルボタン (SHUFFLE) を押すと、iPod/iPhone のシャッフルモードが以下のように切り換わります。



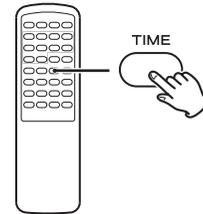
RDM:random (ランダム) の略

シャッフルモードをオンにしたとき、iPod/iPhone のディスプレイに  が表示されます。

「RDM Songs」を選ぶと、選択したアルバムやプレイリストの曲をランダムに再生します。

「RDM Albums」を選ぶと、アルバムをランダムに選んで再生します。アルバムの中身は、順序通り再生します。

CD USB



CD または USB メモリーの再生中に、タイムボタン (TIME) を押すと、ディスプレイ表示が切り変わります。

再生中の曲番と再生中の曲の経過時間

(例)

CD/Play
T003 00:42



再生中の曲番と再生中の曲の残り時間

(例)

CD/Play
T003 -03:02



再生中の曲番と再生中ディスクの残り再生時間 (オーディオ CD 再生時のみ表示)

(例)

CD/Play
T003 -69:02 TTL

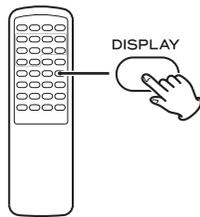
(TTL : TOTAL)

注 CD をシャッフル再生しているときは再生中ディスクの残り再生時間は表示されません。

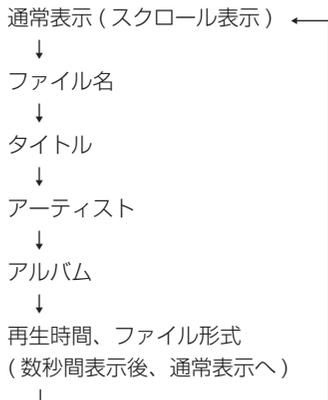
ディスプレイ表示 (続き)

CD USB

ディスプレイの切換え (MP3/WMA ディスク、USB メモリーのみ)



再生中にディスプレイボタン (DISPLAY) を繰り返し押し、曲の情報を表示することができます。



- 本機のディスプレイには半角のアルファベットと数字 (1 バイト文字) しか表示できません。ファイル名に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) が使われている場合、再生は可能ですがディスプレイに正しく表示できません。
- ファイル名は最大 64 文字まで表示します。
- タイトル、アーティスト、アルバムは最大 30 文字まで表示します。

録音の前に

CD の音声を MP3 形式にして、USB メモリーに録音することができます。

MP3/WMA ディスクの場合は ID3 タグも USB メモリーへコピーされます。

録音するときの注意

- 録音中に USB メモリーを取り外したり電源コードを抜かないでください。故障の原因となります。
- 録音時のレベルを変えることはできません。

録音されるファイルについて

- 録音されたファイルは「AUDIO」フォルダーに記録されます。

ファイルは、「Audio001.MP3」、「Audio002.MP3」のように連続した番号で自動的に作成されます。

例：

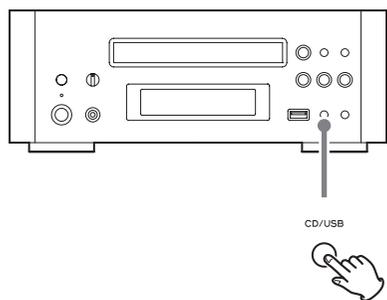
すでに「AUDIO」フォルダーに「Audio004.MP3」と「Audio009.MP3」が記録されている場合、次に録音したときに作成されるファイル名は「Audio010.MP3」となります。

- 本機で USB メモリーの容量を確認することはできません。録音の前に、あらかじめパソコンで確認してください。
- 本機で操作できる最大ファイル数は 2000 です。
- 2000 を超えるファイルが入った USB メモリーは、本機では正しく操作できません。また 2000 を超えるファイルを録音することもできません。
- 録音される MP3 ファイルのビットレートは、64kbps、96kbps、128kbps、192kbps です。

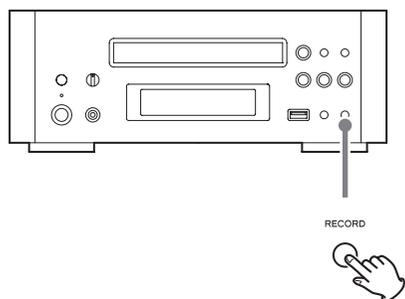
録音設定

録音時のビットレート、スピードや曲数(1曲または全曲)などの設定ができます。

1 CD/USB ボタン (CD/USB) を押して、「CD」を選択する。



2 停止中に録音ボタン (RECORD) を 3 秒以上押し続ける。

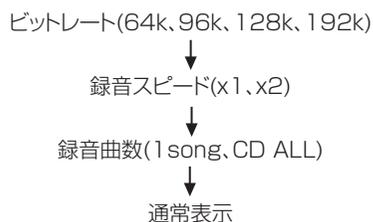


「REC SET: MP3xxK」と表示されます。(xxには、設定したビットレートが入ります。)

- ディスクがセットされていない (No disc 表示中) ときは、表示が変わらず、次の手順に進めません。

3 録音ボタン (RECORD) を押して設定項目を選ぶ。

録音ボタン (RECORD) を押すと、表示が以下のように変わります。



- 設定項目を通り過ぎた時は、通常表示にして、2からやり直してください。

4 スキップボタン (▶▶) を押して録音設定を行う。

ビットレート

録音時の MP3 ファイルのビットレートを選ぶことができます。

(例)

CD/Stop
REC SET: MP3 64K

スキップボタン (▶▶) を押すと、ビットレートが以下のように変わります。



録音設定 (続き)

録音スピード

録音の速度を等速または 2 倍速から選ぶことができます。

スキップボタン (▶▶) を押すと、録音スピードが以下のように変わります。

等速

CD/Stop
REC SET: CD X1



2 倍速

CD/Stop
REC SET: CD X2

録音曲数

録音曲数を 1 曲または、全曲から選択することができます。

スキップボタン (▶▶) を押すと、録音の曲数が「1 song(1 曲)」、 「CD ALL(全曲)」と変わります。

1 曲

CD/Stop
REC SET: 1 song



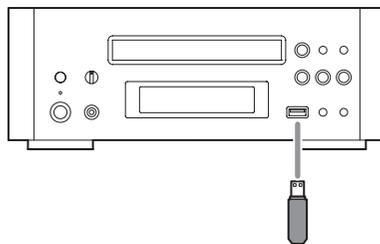
全曲

CD/Stop
REC SET: CD ALL

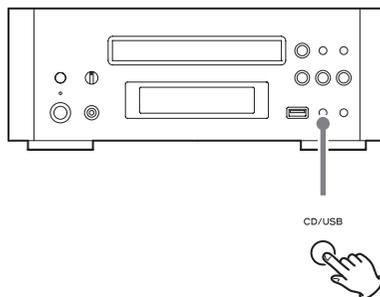
設定後しばらくするとディスプレイが通常表示に戻り、設定が完了します。

USB メモリーに録音する

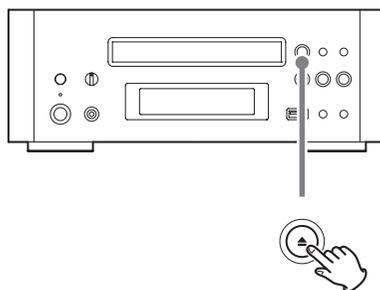
- 1 本機の iPod/USB 端子に USB メモリーを接続する。



- 2 CD/USB ボタン (CD/USB) を押して「CD」に設定する。

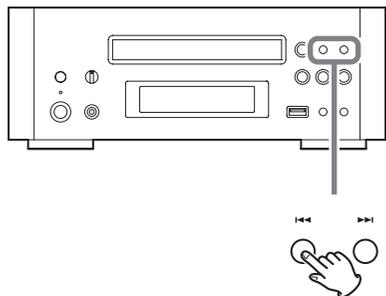


- 3 録音する CD をセットする。

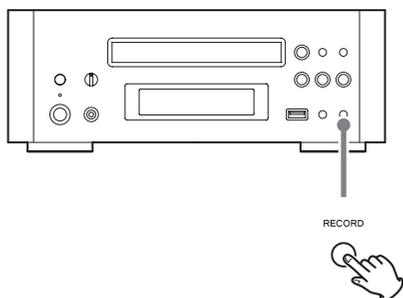


開閉ボタン (▲) を押しディスクトレイを開き、ディスクのレーベル面を上にしてトレイにのせます。再び開閉ボタン (▲) を押してトレイを閉じてください。

- 4** 録音設定で1曲録音を選んだときは、スキップボタン (◀◀/▶▶) を押して、録音する曲を選ぶ。



- 5** 録音ボタン (RECORD) を押す。



録音が始まります。

再生中に録音ボタン (RECORD) を押すと、録音曲数の設定が「1曲」のときは、再生中の曲の始めに戻って、録音が始まります。「全曲」のときは、CDの1曲目に戻って、録音が始まります。

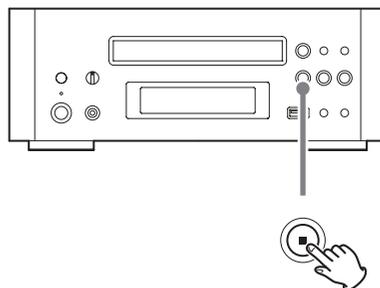
- 録音の速度を「2倍速」に設定した場合、音声は出力されません。
- MP3/WMA ディスクの場合、録音の速度を「2倍速」に設定すると、録音時間は「%」表示になります。

録音が終了すると自動的に停止します。

- USB メモリーが接続されていないときはエラーが表示されます。

Recording Error
- INSERT USB -

録音の停止



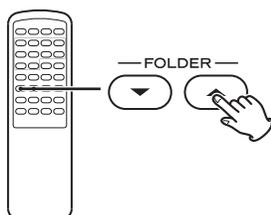
停止ボタン (■) を押すと録音を停止します。

- ディスクの再生は停止しません。もう一度停止ボタン (■) を押すと、再生が停止します。

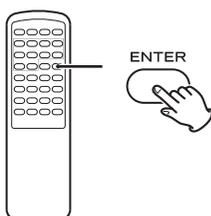
USB メモリーからファイルを消去する

USB メモリーからファイルを選んで消去することができます。

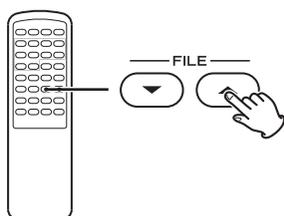
- 1** 停止中に、フォルダーボタン (▼/▲) を押してフォルダーを選択する。



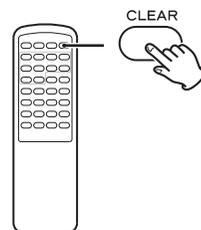
- 2** 決定ボタン (ENTER) を押す。



- 3** ファイルボタン (▼/▲) ボタンを押して曲を選ぶ。

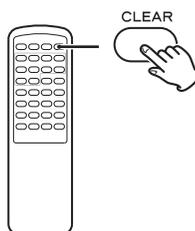


- 4** クリアボタン (CLEAR) を 4 秒以上押し続ける。



ディスプレイに「Delete?」(削除しますか?)が表示されます。

- 5** 3 秒以内にもう一度クリアボタン (CLEAR) を押す。

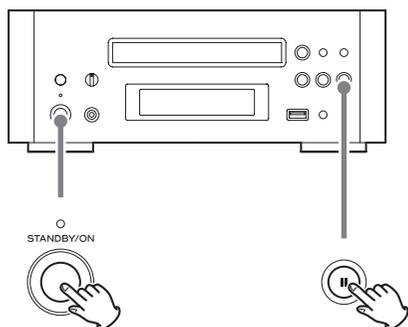


- 3 秒以内にクリアボタン (CLEAR) を押さないと、消去の操作はキャンセルされます。

出荷時の設定に戻す

本機が正常動作しない場合、工場出荷時の初期設定状態に戻すことによって正常な状態に戻ることがあります。

1 スタンバイモードのとき、一時停止ボタン(II)と電源ボタンを同時に3秒以上押す。

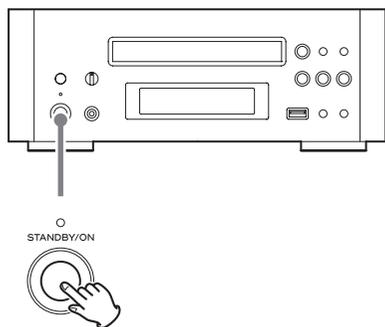


ディスプレイにバージョンが表示されます。

2 電源コードをコンセントから抜く。

3 1分以上経過してから電源コードを再びコンセントに差し込む。

4 電源ボタンを押してオン状態にする。



すべての設定は、工場出荷時の設定に戻ります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。

それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

電源が入らない

- ➔ 電源コードの差し込みが不完全ではありませんか？

音が出ない

- ➔ アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。
- ➔ アンプの操作を確認してください。

ディスプレイに「Power protect」（電源を保護しています）の文字が表示されスタンバイになる

- ➔ 電源が安定していません。しばらく時間を置いてから、電源を入れ直してください。

ディスプレイに「Over current」（消費電流がオーバーしています）の文字が表示される

- ➔ USBメモリーの消費電流が500mAを超えるものを接続したままUSBモード以外にしないでください。USB以外のモードにする時は、USBメモリーを外してください。

リモコンで操作できない

- ➔ 電池が消耗していたら、2本とも新しい電池に交換してください。
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から5メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。

困ったときは (続き)

CD プレーヤー

再生できない

- ➔ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➔ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
- ➔ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RW を再生できないことがあります。
- ➔ ファイナライズされていない CD-R/CD-RW は本機では再生できません。

音飛びがする

- ➔ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➔ 傷が付いたディスクは使わないでください。

iPod/iPhone

iPod/iPhone が動作しない

- ➔ 一度 iPod/iPhone を USB 端子から外し、しばらくしてから再度 iPod/iPhone を接続してください。
- ➔ iPod/iPhone のソフトウェアをアップデートすることで問題が解決する場合があります。アップルのホームページにアクセスして、最新情報を確認してください。

iPod/iPhone の操作ができない

- ➔ iPod/iPhone の HOLD スイッチを解除してください。

MP3/WMA

再生ボタン (▶) を押しても、音が出ない

- ➔ USB メモリーに MP3、WMA のファイルがあるかどうかご確認ください。
- ➔ ファイルのフォーマットを確認してください。本機で再生できるのは、MP3/WMA ファイルです。

ディスプレイに「No Song title No artist No album」と表示される

- ➔ ファイルに ID3 タグが入っていません。パソコンなどで ID3 タグを編集した MP3/WMA ファイルを作成してください。本機で録音した MP3 ファイルには ID3 タグは記録されません。

正しく表示されない文字がある

- ➔ ファイル名に日本語や中国語などの全角文字 (2 バイト文字) が使われている場合、再生は可能ですがディスプレイに正しく表示できません。

録音できない

- ➔ USB メモリーに空き容量があるか確認してください。
- ➔ USB メモリーがロックされていないか確認してください。
- ➔ 全ての USB メモリーでの動作を保証していません。他の USB メモリーをお試しください。

正常に動作しないときは、本機の電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

仕様

CDプレーヤー部

ピックアップ	3 ビーム、半導体レーザー
デジタルフィルター	8 倍オーバーサンプリングデジタルフィルター
周波数特性	20Hz ~ 20kHz ±2dB
全高調波歪率	0.005% 以下 (1kHz)
S/N 比	100dB 以上 (IHF-A)
アナログ出力	2.0V(RCA)

USB部

対応 USB 機器	USB メモリー
インターフェース	USB 1.1
ファイルシステム	FAT 16/32
USB 出力電圧	DC5V
USB 供給電流	500mA
	iPhone 接続時 1A

USB 録音フォーマット

記録フォーマット	MP3
ビットレート	64、96、128、192kbps
サンプリング周波数	44.1kHz (STEREO)

MP3/WMA 再生フォーマット

最大フォルダー数	99
最大ファイル数	2000

MP3

対応規格	MPEG-1/2 Audio Layer-3
拡張子	.mp3
ビットレート	8kbps ~ 320kbps
サンプリング周波数	16kHz ~ 48kHz

WMA

対応規格	Windows Media Audio Standard (DRM 非対応)
拡張子	.wma
ビットレート	48kbps ~ 192kbps
サンプリング周波数	32、44.1、48kHz

一般

電源	AC100V、50-60Hz
消費電力	25W
待機電力	0.5W 未満
外形寸法 (幅、高さ、奥行)	290×113×316 mm
質量	4.3kg
動作保証温度	5°C ~ 35°C

付属品

リモコン (RC-1270) × 1
リモコン用乾電池 (単 3) × 2
RCA オーディオケーブル × 1
取扱説明書 (本書) × 1

仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

■保証書

この製品の保証書は、本書の裏表紙に記載されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買い上げ日、販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後6年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

35 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CD プレーヤー CD-H750
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況（できるだけ詳しく）

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先(社)私的録音補償金管理協会
Tel:03-3261-3444 Fax:03-3261-3447

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



保証書

品名 および 型名	CDプレーヤー CD-H750	
機番		
保証期間	本体	1年

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お買上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	
	ご住所	電話 ()

販売店	所在地・名称(印)	
		電話 ()

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
- ご転居、ご贈答品等でお買上げの販売店に修理をご依頼にならない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - メンテナンス
 - 本書の提示がない場合

- 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせは
AVお客様相談室までご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く
9:30~12:00/13:00~17:00です。

AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く
9:30~17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。

- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。